

# 菊陽町二十歳の成人式

1月7日、菊陽町二十歳の成人式が図書館ホールで開催され、387人が参加しました。  
会場では、参加者が華やかな晴れ着に身を包み、友人や恩師との再会に笑顔を見せていました。



8



7



6



12



11



9



10



4



2



1

1 記念に自撮り撮影 2 友人との再会に思わず笑顔がこぼれる  
3 4 5 20のバルーンを持って笑顔で記念撮影 6 友人に手を振る参加者 7 12 久しぶりの再会に会話が弾む 8 勇気ある参加者が歌を披露 9 アトラクションでは笑いが起きる一幕も 10 活躍した成人式実行委員の皆さん 11 看板に集まって記念撮影

うめはら あやの  
梅原 綾乃さん



かみかわ まき  
上川 真輝さん



そのだ りな  
園田 莉奈さん



とみなが ゆめか  
富永 夢叶さん



いとう ふるか  
伊藤 楓華さん



いそべ たくと  
磯部 卓利さん



## 参加者の声

二十歳の皆さんに、今後の夢や目標、家族への思いを聞きました。

## 二十歳の主張

私は、社会人になり神奈川県で一人暮らしをしています。一人暮らしで何よりも感じるのが家族や友人のありがたさで、自分に自信を与えてくれる大切な存在であることに気がきました。いきなりですが、ありがとうございます。漢字では「有り難い」と書き、この反対は「有ること容易」となり、「当たり前」となるのではないのでしょうか。何気ない日常は当たり前ではないと、熊本を離れて実感しました。私たちが成人式を迎えられることも数え切れない奇跡が重なりできた結晶です。だからこそ私は1秒1秒かみ締めて感謝の気持ちを忘れずに生きていきたいです。



はんざわ よしき  
半澤 克輝さん

## 二十歳の主張

この20年間、さまざまな選択の中で迷いや葛藤がありました。これからも、時には投げやりになつてしまったり、優しさを捨ててしまいたくなつたりすることもあつたでしょう。それは全て私たちの選択です。失敗を誰かのせいにはできないように、幸せも誰かに預けることはできません。自分の選択で手に入れたものは、何にも代えがたい価値があります。私は自分を持った上で、他人を受け入れられる人になりたいです。

今連ねた言葉は全て、この町で育った仲間たちと私自身への激励でもあります。この言葉を心に留めて、私は「これから」を生きていきます。



なかむら ゆい  
中村 唯花さん